

# うぐいすだより

美祢市立桃木小学校  
学校だより  
平成24年度第9号  
1月1日

## 一年の計は元旦にあり



平成25年、新しい年が始まります。新しい年に子ども達はどんな目標をたてるでしょうか。3学期始業式には、子ども達一人ひとりが今年の抱負を発表します。今の自分を見つめ、何か新しいことにチャレンジしたいと考えるきっかけを与えてくれるお正月は日本人独特なもので大切にしたいものです。

2学期も桃木小7名の子ども達はたくさんのチャレンジの体験を通して、たくましく成長してきました。練習を重ねるほどにタイムがよくなり本番ではほとんどの子ども達が自己最高タイムで走った持久走大会、「去年は上手にできなかった二重跳びが今年出来るようになった」等、子どもの成長の確かさやできる喜びに出会うと教師も元気をもらいます。3学期は学年のまとめの学期ですが同時に次の学年への準備の学期でもあります。特に来年度は5名の少人数で、一人ひとりが担う役割も大きくなります。1年の初めに目標をしっかりと定めてがんばり続けることが大切です。本年も日々の積み重ねを大切に学校職員一同尽力しますので、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年ノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥さんは高校時代に進路で悩むときに、医師 徳田虎雄著「生命だけは平等だ」という本に感動し医師になることを決めたそうです。中学高校時代は柔道、大学時代はラグビー、今はジョギングを趣味とすることで鍛えられた体力は、寝ずの研究が多いなかで発揮され IPS 細胞の開発を支えました。手術が下手で20分で終わる手術に2時間の時間がかかり指導の医師から「おまえは山中ではなく『じゃまなか』や」と怒鳴られたり、研究に使うネズミの管理に追われ『やまちゅう』と呼ばれたりした話を読みました。大きな成果を得るためにはたゆまない努力が必要なことや人を救うための医学の研究をだれになんと言われても続けることなど山中さんの生き方にはたくさんの教訓があります。迷ったときに、出会った本から自分の方向を見いだすことはよく聞くことです。そんな読書の習慣を子ども達がもってほしいです。今年度も残り少なくなりましたが、子ども達に伝記のお話だけでなく、今を生きる人の生き様を伝えていこうと考えています。

うれしさいっぱい、

みんなの学校

ぐんぐん 学ぶ子

いきいき 強い子

すくすく 優しい子

## 学校評価アンケート ご協力ありがとうございました

美祢市で取り組んでいる学校評価が7年目を迎えました。項目内容を見直し今年度も昨年12月に実施いたしました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

児童・保護者・職員・地域の方々それぞれの立場での評価をもとにさらに学校改善を図っていきたく思います。現在アンケート結果を基に、自己評価書を作成しているところです。2月の学校関係者評価委員会で、評価書を作成し学校改善報告書に取り組む予定です。結果は、後日文書やホームページでお知らせいたします。

ホーホケキョ

今年は 己年だ！

へびはにがてだけど、今は地面の下で冬眠中かな？

学校の桜も葉っぱが全部落ちてしまったけど、枝には葉っぱの赤ちゃんがついている。

春になればまた花が咲くね！

ホーホケキョ

